

平成27年度産業技術総合研究所における 創薬支援ネットワークの活動計画

(独)産業技術総合研究所
平成27年3月4日

・H27年度予算に関しては、政府案のインハウス予算として21億円が盛り込まれている。

・H27年度支援方針

これまでに構築したインフラとノウハウを活用して、ライブラリーのスクリーニング等を支援する。また、新たに力価向上に関する支援を行う。

1. 産総研技術を創薬ブースターに活用

- ・ 計測基盤技術・ツール、力価向上での産総研の寄与
- ・ 技術組合を通じた寄与 (HTS)

天然物の力価向上



製薬企業でのノウハウを取り入れた力価向上

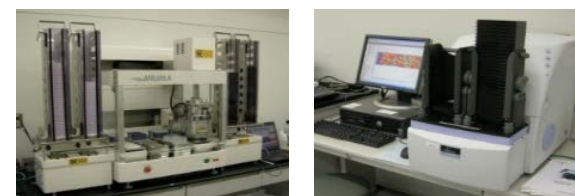
ロボットによる自動化・高精度化・クリーン化と
ナノテクによる超高感度化・ハイスループット化
(定量的プロテオーム解析技術等)



産業ロボット技術

クリーンルーム

次世代天然物化学技術研究組合を通じた寄与



世界最大級の天然化合物ライブラリーを用いたHTS

2. 創薬を加速する技術の高度化

インハウスプロジェクト: 革新的創薬推進エンジン開発プログラム (LEAD) 等

3. 企業への橋渡し機能の強化

医療機関との連携を深めるとともに、製薬企業からの研究委託を中心に展開

(独)産業技術総合研究所 中長期目標(抄)【案】

(別紙)第4期中長期目標期間において重点的に推進すべき具体の研究開発の方針

【生命工学領域】

○創薬基盤技術の開発

創薬のリードタイムを短縮するために、古典的新薬探索から脱却し、短時間に低コストで成功率の高い創薬プロセスを実現する創薬最適化技術、ゲノム情報解析技術、バイオマーカーによる疾病の定量評価技術などの新しい創薬の基盤となる技術を開発するものとする。

(独)産業技術総合研究所中長期計画(抄)

策定中

※生命工学領域において、創薬支援ネットワークにおける技術支援に取り組む旨を明記する予定。

(独)産業技術総合研究所 27年度 年度計画(抄)

策定中